

かめおか

市議会だより



活発な市民参画を

目指して、

思いを形にする

亀岡市議会の情報発信。

亀岡市観光マスコットキャラクター
2021年(令和3年)1月31日



医療従事者に感謝をこめて
平和塔、青のエール



新型コロナウイルス感染症の困難の中でご尽力を
いただいている皆さまに敬意と感謝の意を表します

2年間の広報広聴を振りかえって

全議員が市政を問う！
一般質問

コロナ対策の補正予算決まる

ひとり親世帯に支援金給付

施行のゆくえ！

レジ袋禁止条例

第5次総合計画は徹底審査に！

これからの10年は？
かめおか未来予想図

リモートで実施！
市長に質問!! 子どもも議会

令和二年

十二月議会





ピックアップ! 12月議会



レジ袋禁止条例…施行は?

市長 指摘の通り、新型コロナウイルス感染症により事業者の経済状況は厳しいと認識している。1月1日から施行するが、2カ月間は「スタートアップ期間」とし、条例対応が難しい事業者からの相談を受け、一緒に考えていく。市民への周知も徹底していきたい。

議会 3月に可決したプラスチック製レジ袋提供禁止条例は、附帯決議により、コロナ禍の状況も踏まえ、施行について議会と協議することになっている。亀岡商工会議所など事業者、市民団体からも、施行延期の声が寄せられている。延期または何らかの配慮が必要ではないか。

☆ひとり親世帯臨時特別給付金
児童扶養手当受給のひとり親世帯等、基本給付5万円、第2子以降一人3万円。
※コロナの影響で家計が急変し、収入が減少した世帯には追加給付5万円。

☆市立病院にデジタル検温器や空調付パーテーションを設置。

☆商業支援として買い物時のキャッシュレス決済への最大10%ポイント還元。

など主な49項目

コロナ対策等補正予算

<基本構想案の概要>

- 令和3年度を初年度に、令和12年度を目標にする
- 10年後人口を77,000~81,000人に設定
- 目指す都市像
「人と時代に選ばれるリーディングシティ亀岡」
- 重点テーマ
 - 1 子育てしたい、住み続けたいまちへ
 - 2 スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝くまちへ
 - 3 世界に誇れる環境先進都市へ
 - 4 だれもが安心して暮らせる防災・減災、セーフコミュニティ、多文化共生のまちへ
 - 5 次代をリードする新産業を創出するまちへ
- 施策の基本方針〔この詳細が基本計画案〕
 - 1 互いを認め合う、ふれあいのまちづくり
 - 2 安全で安心して暮らせるまちづくり
 - 3 子育て・福祉・健康のまちづくり
 - 4 豊かな学びと文化を育むまちづくり
 - 5 地球にやさしい環境先進都市づくり
 - 6 活力あるにぎわいのまちづくり
 - 7 快適な生活を支えるまちづくり
 - 8 効率的で持続可能な行財政運営
(基本計画では8項目を37節に細分具体化)

第5次亀岡市総合計画 (基本構想・基本計画)

10月
各会派から募った素案に対する意見80項目を委員間で確認、執行部に送付し回答を求める。
議論を深めるため、議案提案前に17項目の質疑を選定し回答を求める。

12月
議案審査では、市民福祉の増進のために、さらに修正が必要な項目をまとめて、市長に対して提案。

市長は議会の求めに応じて議案の訂正を申し出

※訂正の内容…「災害に強いまちづくり」「中学校給食の実施についての調査・研究」の文言挿入など14項目。

賛成多数により可決

かめまるくんとしんがくんの議会とーく



石田梅岩イメージキャラクター しんがくん

みなさん、今年も議会だよりをよろしくお願いいたします。そして、みんなで力を合わせてコロナ禍を乗り越えていきましょう!



亀岡市観光マスコットキャラクター 明智かめまる

注目! 12月議会審査だったよ

12月議会では、新型コロナウイルス対策の第三次補正予算などの議案と合わせて、「第5次亀岡市総合計画」が審査されたね。

総合計画は、今後10年間の亀岡市の施策を決める大切な計画なんだ。だから、議会も、9月に検討特別委員会を設置し、素案の段階からたくさん意見を出してきたんだ。

12月議会では、市民にとってよりよい計画になるように、議会からの意見に市長が修正に際するなど、予定の日程を超過してとことん話し合ったんだよ。



さて、今期の広報広聴会議は、議会だよりの大改訂計画や、グループ討議などを取り入れたわがまちトークなど、新しい取り組みに取組んだね。

そうだね。今年度はコロナでわがまちトークなどができなかったけど、自治会にアンケート箱を設置するなど、可能な限り声を集める努力をしていたよ。



また、小学校の授業とコラボしてリポート子ども議会も開催したよ。次は、高校生との意見交換会も計画しているんだって。

市民のみなさんからも「議会だよりに関心を持つようになり、声が届いたよ」などの声も寄せられています。

子ども議会の様子やアンケート結果も4・5ページに掲載しています。

令和2年12月議会	
ピックアップ! 12月議会	P.3
特集	
子ども議会	P.4
広報広聴活動をふり返って	P.5
議案審査など	
委員会報告	P.6
本会議での討論	P.7
議決結果・意見書	P.8
一般質問	
21人の議員が市政を問う	P.9~16



広報広聴活動を振り返って

まさに「挑戦」の2年間でした。市民目線で「わかりやすい」「読みやすい」ものに、さらには、議会に興味をもっていただき、市民参加・双方向的な議会だよりになることをめざして、部会の議員が妥協せず、アイデアを出し合いました。タイトルと写真だけだった表紙も、様々な工夫をしました。やはり「読んでもらってナンボ」です。これらの経験を、次期にも生かしたいです。

広報部会長 三上 泉

広聴部会長として、この1年間取り組んできましたが、コロナウィルスのおかげで、ほとんど活動ができなかったのが残念でした。議会には、わがまちトークというものがありません。それをもっと、より本音で話し合える、コミュニケーショントークを実現したかった。来年からは、市民の皆様の本音を聞き出せるような、楽しい広聴活動にしていきたいと思えます。

広聴部会長 赤坂 マリア



議会だよりの発行や「わがまちトーク」の開催などを担う広報広聴会議の今期(2年)の活動を振り返りました。

広報部会も広聴部会も、斬新な意見を形にできました。広報広聴会議でそれぞれの活動を全員で意思統一することや、全議員を代表する議会としての活動なので、議会運営委員会との連携を大事にしました。また、議会の活動はもれなく全てフェイスブックで発信するよう2年間続けてきました。今後、市民の皆様にも市議会を身近に感じていただけるよう努力したいですね。

広報広聴会議委員長 小川 克己

わがまちアンケートより
 広報広聴活動に関わるもののみ掲載しています

議会だよりについて

- ◆ 議会の様子がよく分かりました。これからも続けてください。
- ◆ 文字が多くあまり読む気にならない。もう少し読みたいたいと思えるようなポップな内容も欲しい。
- ◆ 亀岡をよりよくするための想いがそれぞれ伝わってくる。ぜひ現実のものにしてほしい。
- ◆ 写真が多くて、親しみやすくなった気がしました。
- ◆ 市政情報だけではなく、楽しめるような(アイスブレイキング)コーナーとかを設けてもよいのではないかと思います。

わがまちトークなどへの意見

- ◆ 若い世代が参加できるように週末に開催されるとよいと思う。
- ◆ 市議会議員とのふれあいがある。あまり無いので、接する機会が増えてよかったです。
- ◆ 議員の生の声が聞け、議会との近さを感じました。

広報広聴会議の委員からひとこと

紙面づくりに議論と工夫を重ねました。賛否もありましたが、一定の評価をいただきました。楽しみました。大塚 建彦

市民の方に見ていただき、読んでいただけるような議会だよりを目指して活動しました。応募もお待ちしております。木村 勲

今後は、配布場所などの工夫、ネットも積極的に活用した議会広報の活動に努めたいと考えております。松山 雅行

今後は、ポストコロナを見据え、広聴として少人数の集会、リモートなど、柔軟な対応を展開したいです。富谷 加都子

広聴部会委員として、コロナウィルス感染症対策を徹底する年でした。今後も亀岡市民の声を聞いていきます。浅田 晴彦

わかりやすくお伝えしたく取り組んでました。これからも、わかりやすいをテーマに活動します。三宅 一宏

市議会 議員さんと学習したよ!!

吉川小学校6年生

市長に質問 子ども議会

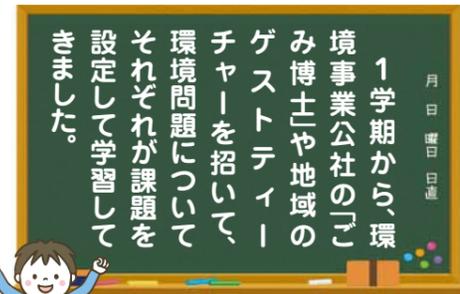


吉川小学校6年生は、社会科の「議会のしくみや議員の仕事」総合的な学習の時間の「環境問題」を組み合わせて、環境事業公社や市議会(広報広聴会議)とのコラボレーションで学習を進めてきました。1月19日には、リモートで「子ども議会」を開催し、学習の成果をもとに質問しました。



議員との交流学习!!

昨年10月に吉川小学校で、議会の役割や議員の仕事などについて、率直に質問して交流しました。また、子ども議会の1週間前には、リモートで議員から質問のアドバイスを受けるなどの交流学习会を行いました。



環境問題をテーマに学習!!

子ども議員からの質問 (環境関連のみ一部抜粋)

- ◆ 給食の牛乳ストローがプラスチックごみになるので変えてはどうか。
- ◆ 埋立てごみを減らすために処分場ではどのように努力をしているか。
- ◆ 自販機をウォーターサーバーに。
- ◆ ごみ箱をいろいろな所に設置してほしい。
- ◆ ハトのフンの解決方法を教えてください。
- ◆ スタジアムのごみはきちんと分別されているか。
- ◆ スタジアムができてアユモドキは元気が。道路に落ちてくる犬のフン対策の啓発看板を作ってほしい。
- ◆ 飼い主のいない猫や犬の保護施設を作ってはどうか。



新型コロナウイルス感染症対策として、リモート開催になりました。



総務文教常任委員会

○ふるさと納税18億円を見込む

一般会計補正予算
(第6号)
可決(全員賛成)

ことから、当初見込んでいた年間寄附総額7億円を18億円に修正することに伴う、所要経費の増額補正。
ふるさと納税ポータルサイトへの収納業務・返礼品発送業務等委託料として5億4575万3千円を増額し、京都・亀岡ふるさと力向上基金積立金として11億円を増額する。

○タブレットで議会活動をより活性化

議会活動経費

463万円増額

新型コロナウイルス感染症の感染拡大や災害発生時など、社会情勢が混乱した場合にもスマートデバイスを活用し、迅速に的確な議会運営が行えるよう、タブレット端末及び文書共有システムを導入するための増額補正。
タブレット端末の活用で議員活動の活性化

環境厚生常任委員会

○市立病院の職員定数を10人増加

亀岡市職員定数条例の一部改正
可決(全員賛成)

高齢化に伴う将来の医療需要の増加に対応し、適切な医療提供体制を構築するため、訪問看護事業の展開を見据えて病院事業事務局の職員定数を128人から138人に増員するもの。内訳は、看護師8人と理学療法士など2人を増員する。
【主な質疑】
問 人材確保の現状と見通しは。
答 地域経済が落ち込む中で、今年度の退職者はまだいない。地域で患者に寄り添うという事業内容に共感している看護師もおり、人材確保に困ることはないと考えている。
問 訪問看護を進めるにあたり、民間病院と連携し、広く医療体制を展開する考えは。
答 民間病院と連携し、医療体制が希薄な部分や専門的な部分を市立病院で補うことになると考えている。

○新型コロナウイルス感染症に伴う保険料の減免

国民健康保険事業特別会計補正予算
可決(全員賛成)

一般被保険者国民健康保険料
884万9千円減額
災害臨時特例補助金
884万9千円増額

新型コロナウイルス感染症による減免に係る保険料を減額し、国から同内容に伴う補助を受けるもの。

産業建設常任委員会

○キャッシュレス・ポイント還元キャンペーンを実施

一般会計補正予算
(第6号)
可決(全員賛成)

1億627万5千円増額

このキャンペーンは、新型コロナウイルスの感染拡大により落ち込む市内の経済を活性化させるため、市内での消費促進とキャッシュレス決済の推進を目的に実施する。
期間中に市内の対象店舗で、対象の決済事業者でのキャッシュレスによる支払いをするのと、支払い金額の最大10%のポイントが付与される。1回の買物で上限千円、期間中最大1人3千円が上限となる。
期間は、令和3年2月1日から令和3年2月28日まで。今後、市の広報紙やSNSなどで情報発信していく。また、キャッシュレス決済未導入の店舗については、加入手続きの手助けを行う。
【主な質疑】
問 市内にキャッシュレス決済を導入している店舗はどのくらいあるのか。
答 大手の決済事業者であれば、約700店舗ある。
問 キャッシュレス決済未導入の店舗や市民に対して、導入や利用をどのように促していくのか。
答 未導入の事業者には、決済事業者と協力して、店舗を回り、しっかりと説明する中で、通常ならば3週間ほどかかる手続きを、直接その場で登録できる体制を整える。また、市民に対しては、サポート窓口を設ける予定である。

本会議での討論

共産党議員団

三上 泉 議員

第17号議案及び第18号議案 反対討論

賛否や採決結果に関わらず、少しでも市民にとって、よりよい計画になるよう、建設的な意見を審査の中で述べてきたので、修正された項目については評価しているが、意見を述べたが受け入れられなかった部分については賛成することができない。水害対策が不十分な亀岡駅北への開発を前提とした「スタジアムを核としたまちづくり」、小規模校の統廃合をにらんだ学校規模適正化の推進、他市町では当たり前の学校図書館への司書配置の方針がないこと、人権尊重施策の不適切な部分を指摘してきたにもかかわらず、10年前と同じ文言で踏襲していることなどが主な理由である。いったん差し戻して再考を求めます。

緑風会

赤坂 マリア 議員

第17号議案及び第18号議案 賛成討論

9月議会で特別委員会の設置後、素案の段階で審査が始まった。当初は、文言訂正できないという説明であったが、再三にわたる委員会と理事者の協議の中で、文言訂正も含めて、できるだけ修正させていただくとの申し出があり、その後、市長から議案の訂正があった。今回の基本構想、基本計画については、委員会での意見がかなり反映されており、これは木曾委員長らの努力、桂川市長の配慮、また理事者の心配りによるものであり、思い切った亀岡市の未来への挑戦を感じ取れたことに対して第17号議案・第18号議案について賛成する。

新清流会

菱田 光紀 議員

第17号議案及び第18号議案 賛成討論

第5次亀岡市総合計画は、令和3年度から10年間の亀岡市のあるべき姿、抱える課題に向き合い、SDGsなどの取組を通して持続可能なふるさとづくりを目指し、策定するものである。基本構想は、本市が目指す都市像「人と時代に選ばれる リーディングシティ亀岡」を実現するための基本方針を示し、基本計画は、構想に掲げる基本方針に基づき、体系的、総合的に示したものであり、社会経済環境の変化に柔軟に対応できるように必要に応じて見直すこととなっている。これは、前計画まで前期・後期の5年に分けていたことに見直すべきと質してきたことが加味され、日々変化する社会情勢の中で変更可能にしたものであり、加味する。ただ、今回の議案審査において、積極的に意見を発していた会派が反対討論をされることは到底理解に苦しむものであり遺憾である。

公明党議員団

富谷 加都子 議員

第17号議案及び第18号議案 賛成討論

第5次亀岡市総合計画市民会議をはじめ、幅広い層からいただいた多くの意見を集約し、最終的には、諮問機関である総合計画審議会が慎重に審議して取りまとめた基本構想であると認識している。SDGsには、基軸にSDGsの理念を踏まえており、今後10年の亀岡市の持続可能なまちづくりへつながるものと評価する。
付託された検討特別委員会において、各会派の意見を精査して議論し、最終抽出した意見を議会の総意として提出し、それに対して行政が最大限反映したことを評価する。今後は、未知なる感染症にも対峙し、第5次総合計画の実現に向け、着実に歩みを進めることを期待する。

討論とは…
賛成か反対かの意見を表明し、他の議員を自己の意見に賛同させようとする発言だよ。



傍聴のご案内とインターネット中継

亀岡市議会の本会議を議場でご覧いただくこと(傍聴)ができます。

○本会議当日に市役所8階議場までお越しいただき、傍聴届に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。

○手話通訳などをご希望される場合は、会議の1週間前までに議会事務局にご相談ください。

◆新型コロナウイルス感染症拡大防止のため当面の間、本会議・各委員会の傍聴を自粛いただきますようお願いいたします。

【インターネットでも本会議のライブ中継・録画をご覧ください。】



市政を問う

12月議会では、21人の議員が一般質問(※)を行いました。その主な問答の要旨について各議員の要約原稿を掲載しました。(文責は各議員にあります。) 12月議会では、21人の議員が一般質問(※)を行いました。その主な問答の要旨について各議員の要約原稿を掲載しました。(文責は各議員にあります。) 12月議会では、21人の議員が一般質問(※)を行いました。その主な問答の要旨について各議員の要約原稿を掲載しました。(文責は各議員にあります。)

(※)一般質問とは、議員が市の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行状況や方針などを質問することをいいます。議長、副議長、議会選出の監査委員は、一般質問を行いません。

全員賛成で可決した議案

Table with 3 columns: 付託先, 件名, 結果. It lists various budget and administrative proposals, such as 'R2一般会計補正予算(第6号)' and 'R2一般会計補正予算(第7号)', all marked as '可決' (Adopted).

賛否の分かれた議案

Table with 3 columns: 会派名, 議員名, 付託先. It lists proposals with voting results for different parties like '新清流会', '緑風会', and '共産党議員団'. Includes a small cartoon character and a note about the content being on the city website.

※齊藤一義議員は、議長職のため表決権はありません。

意見書

少人数学級の早期実施を求める意見書(案)

発議者

総務文教常任委員長 山本由美子

新型コロナウイルス感染症は、社会に新たな問題を投げかけるものとなった。いまだ収束が見込めない中、児童生徒の安全・安心の確保と学びの保障を両立させるためには、新型コロナウイルス感染症対策の徹底と、指導体制の整備が喫緊の課題である。そのことから、義務教育段階にある子どもたちに対して、身体的距離を十分確保するとともに、子どもたち一人一人の個性に応じた、きめ細かな教育を実施することが重要である。

国におかれては、公立小学校の1学級の人数を40人以下から35人以下に、段階的に引き下げることを発表されたところであるが、今後、義務教育段階における子どもたちの個別最適な学びを実現し、感染症等の緊急時であっても安全・安心な教育環境を確保しつつ、すべての子どもたちの学びを保障するためには、少人数学級のさらなる拡充が必要である。前述の趣旨を踏まえ、少人数学級を早期に実施されるよう強く要望する。

1 義務教育における少人数学級を早期に実施すること。 2 上記に伴う所要の教職員定数や教室等の確保について財政措置を講ずること。

搜索活動や有害鳥獣駆除にドローンが活用できる取組みを



小川克己 議員

小川 災害時や行方不明者の搜索、有害鳥獣の確認などには、広範囲かつ長時間の作業という課題があり、ドローンの活用は大変有効である。現在は1社と災害協定を締結しているが、内容を拡充し、多目的に使用できるようにすべきでは。

産業観光部長 有害鳥獣対策として、個体数の動向をモニタリングしている事例や林務行政では山間部の傾斜崩落や風倒木調査など、人の立ち入りが困難な奥地での現況調査などにも効果があると考え、関係部署と連携し利用拡大を図っていきたい。

小川 ドローンに関する部署を一本化し、多目的な協定を結ぶ考えは。 市長 ドローンの種類や機能を十分調査し、必要なものについては新たな形で取り組み、設置していきたいと考えます。

小川 さまざまなことを想定しながら協定を結んでいただくように要望する。

誰一人取り残さないデジタル社会の実現を



山本由美子 議員

山本 誰もがデジタル社会の恩恵を実感できることが重要である。国においては、今年度から高齢者などを対象に、ICT機器の利用をサポートするデジタル活用支援員の仕組みを構築する考えは。

視覚異常の検出精度を向上させるため屈折検査機器の導入を

山本 子ども目の機能は、6歳までにほぼ完成するため、3歳児健康診査において異常が見逃されると治療が遅れ、十分な視力が得られないなどの指摘もあり、早期発見・早期治療が重要となる。現在の視力検査に加えて、屈折異常や斜視などを発見するスポットビジョンスクリーナーを導入する考えは。 小川 子どもの視力検査は、早期発見・早期治療が重要となる。現在の視力検査に加えて、屈折異常や斜視などを発見するスポットビジョンスクリーナーを導入する考えは。



松山 雅行 議員

「まもっぷ」を使って、子育て応援!

を行政として後押し(広告を市の公式SNS、亀岡シティオンライントVなどで発信)する必要がありと考えるが、所見は。

松山 コロナ禍で市内の経済も落ち込んでいる中、継続的に消費してもらったために本事業を活用し、子育て世帯にマッチするような展開が必要と考えるが、所見は。

市長 協賛店舗が

様々なサービスを提供することで、子育て世帯を応援していただいている。引き続き、周知啓発と多くの子育て世帯に利用いただけるよう、本事業を有効活用したい。

松山 子育て世帯を応援される協賛店舗



きょうと子育て応援パスポート(まもっぷ)

市 協賛店舗を通じて、協賛店舗を紹介することにより、結果的に多くの子育て世帯に移住・定住していただき、経済効果を生むような展開も考えていきたい。

市長 本市独自の取

組みとして、ふるさと納税で返礼品のサービスを充実された事業所を子育て応援事業所としてアピールすることもできる。市の動画配信事業を通じて、協賛店舗を紹介することにより、結果的に多くの子育て世帯に移住・定住していただき、経済効果を生むような展開も考えていきたい。

障がい者の通院に現実的な支援を



三上 泉 議員

三上 重度障がい者の通院などに係る移動の経費支援は、実情に応じた交付額か。

健康福祉部長 市としては最大の対応である。

身近な地域ごとに遊び場や公園を

三上 各地域における子どもの遊び場、公園、遊具などの設置計画の進捗状況は。

まちづくり推進部長

亀岡駅北など土地区画整理事業地で新たな公園の整備を進める。ガレリアのあそびばもオープンする。

三上 制度創設から1・2倍しか増額されていないが、その間タクシー運賃は2倍以上値上がりし、遠くまでの通院だと月2回で年額を超えてしまう。検証・検討が必要では。

健康福祉部長 指摘は分かるが、財源問題もあるので慎重に研究したい。

三上 3月議会で市長もおっしゃったが、交通量の多い道を渡って行くより、各地域に造るべきでは。

まちづくり推進部長

今は新たな事業の中で整備したい。安全対策は検討する。

ふるさと納税が大幅に増加した要因は



西口 純生 議員

西口 ふるさと納税の寄附金が大幅に増加した要因として、どのような工夫があったのか。

市長 魅力ある返礼

霞堤の嵩上げが進めば内水処理の問題が残るが、その対応策は

西口 霞堤の嵩上げによる内水処理について、京都府下に4台ある大型排水ポンプ車を亀岡で活用できないか。

まちづくり推進部長

有事の際、速やかに要請できるようにポンプ車の侵入経路、駐車位置、吸い込み



大型排水ポンプ車

口の設置場所の確認など準備を進めたい。

スタジアムを生かしたまちづくりを



藤本 弘 議員

藤本 令和2年1月に、「麒麟がくる」京都亀岡大河ドラマ館」がスタジアム内に開設された。入館者状況と開設期間が令和3年2月14日まで延長されたが、さらなる誘客戦略は。

ふるさと納税20億円を目指した取組み

藤本 ふるさと納税について、前年と比較して、今年の見込み(件数・金額)はどうか。

市長 12月8日現在で、3万7572件、14億1984万円の

産業観光部長

12月7日時点で7万7111人の方が来館されている。令和3年1月11日にスタジアムで行われる成人式に合わせ、新成人に招待券付きPRチラシやドラマ館駐車券などを考えている。また、市内拠点とドラマ館を結ぶ無料送迎バスの運行も検討している。ぜひ、市民の皆さんに盛り上げていただきたい。

亀岡の河川からごみをなくす河川条例の制定を



木村 勲 議員

木村 「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」「亀岡市ポイ捨て等禁止条例」が施行されたが、世界に誇れる環境先進都市を目指し、海洋マイクロプラスチック

を減少させるため、河川条例を制定してはどうか。

市長

ごみを保津川から下流へ、そして海に流さない、世界規模の海洋汚染問題に立ち上がる意識のつながりを呼びかけ、積極的に環境教育や啓発活動に取り組み、河川管理者である京都府とも調整する中で研究していきたい。

国土強靱化のための緊急対策を

木村 ここ数年は毎年のように台風や豪雨が発生し、国は「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を進めているが、本市の浚渫事業の現状と今後の予定は。

まちづくり推進部長 本年度

は、国の新たな財源を活用し、12河川で土砂浚渫を実施しており、篠町、保津町では、浚渫の発注準備をしている。大井町においては増水危険河川の願成寺川の浚渫を予定している。

亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止条例の施行は慎重にすべき



並河 愛子 議員

並河 1月1日施行予定の条例について、市議会は9項目の附帯決議を付けて市民や事業者の理解を得

て実施することを求めたが、現状はどうか。

環境市民部長

市民への啓発として、9月と12月にチラシを全戸配布し、消費者にエコバックを持参いただくよう周知に努めた。代替紙袋の調達支援なども進めている。

保護申請者の身近な相談者である第3者の同席排除は問題ではないか

並河 2013年に生活保護法が改正され窓口での口頭申請を認めず、就労や扶養を押し付けて申請者を追い返す水際作戦の合法化で、憲法無視の保護行政の在り方が問題となっている。本市においては、申請希望者の相談者である第3者の同席拒否があると思

健康福祉部長

民生委員・児童委員や医療介護の関係者、また申請者の身内の方については同席いただくこともある。原則それ以外の方についてはお断りしている。

もつと積極果敢に、SDGs未来都市
かめおかを市民に周知啓発すべき



富谷 加都子 議員

富谷 SDGs未来都市として、取組みを問う。①JR4駅や庁舎前に横断幕を掲出する考えは。②商業施設に啓発ポスターを掲示する考えは。③市の図書館にSDGs特設コーナーを設置する考えは。④環境ロゴバッジを作成する考えは。⑤フードボックスの設置を検討した結果は。⑥さかなクンをアユモドキ大使に任命する考えは。



市立図書館中央館

第5次総合計画の「リーディングシティ亀岡」はSDGsの先駆的実行か



長澤 満 議員

長澤 第5次亀岡市総合計画の目指す都市像「リーディングシティ亀岡」の趣旨は、広域の中での指導的役割ではなく、

レジ袋条例施行に際し、苦慮する業種業態に配慮し、各店の対策に補助を

長澤 共産党議員団の市民アンケートの結果は「1月施行がよい」46%、「施行延期がよい」37%で、自営・経営者、派遣・パートの方は「施行延期」が「1月施行」よりやや少ない程度であった。対応に苦慮する業種業態に配慮し、各事業者の個別紙袋以外

児童や生徒の思いに寄り添い
思い出に残る学校行事を行うべき



平本 英久 議員

平本 コロナ禍の中で感染予防に配慮しながら、児童生徒、保護者の思いを受け止め、運動会や入学・卒業式、などの学校行事を行うべきだと考えるがどうか。

有害鳥獣による農作物への被害対策に真剣に取り組むべき

平本 篠町においてイノシシによる被害が多発している。現在捕獲ワナが設置されているが、捕獲に至らず成果が上がっていない。ワナの増設や設置場所の変更など実績の上がる方

市道馬堀停車場篠線の整備状況と今後の見通しは



石野 善司 議員

石野 平成25年6月から概ね7年を事業期間として、事業を開始されたが、進捗状況と今後の見通しは。

明智光秀公のまちとして今後の展望は

石野 今後、光秀公のまち亀岡としての展望は。



広道交差点付近

高齢者政策における地域包括支援センターの役割は



竹田 幸生 議員

竹田 高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしが持続できることを目指し、地域の包括的な支援サービス体制がある。亀岡市の取組みと高齢者の現状はどうか。

健康福祉部長

健康福祉部長 本市における基幹型センターは、国の示す後方支援機能に加え、各センターと関係課の連絡調整、成年後見制度における中核機能を持ち、第8期介護保険事業計画期間中に設置を検討している。

職員の人材育成方法の多様化を



三宅 一宏 議員

三宅 ここ数年で多くの幹部職員が定年を迎えるが、円滑な体制の整備・移行に、向けた取組みは。

市長 管理監督職については、組織マネジメント力や市政運営上の各課題などに関する知識、能力を高める研修を、また係長や主任には、行政活動の運営者としての専門的な業務遂行に必要な知識、技術を高める研修を実施している。退職する職員には、豊かな経験を生かし、後輩の人材育成など、指導的な役割を担っていただく。

パートナーシップ宣誓制度の適切な運用を



田中 豊 議員

田中 亀岡市パートナーシップ宣誓制度をどのような形で担保していくのか。

いこと及び双方がパートナーシップ宣誓制度やそれに類する制度を利用していないこと並びに宣誓者同士が近親者でないことを予定している。

田中 宣誓に必要な書類は。

生涯学習部長 要綱によって運用を進めていきたい。

生涯学習部長 宣誓書、住民票の写し、

田中 要綱で定める

生涯学習部長 民法で定める成年に達していること、双方が

生涯学習部長 民法

田中 担当の窓口は。

生涯学習部長 民法

生涯学習部長 人権啓発課で行う。

田中 いつから開始

生涯学習部長 今年度内で検討している。

生涯学習部長 今年

生涯学習部長 今年度内で検討している。

山鉾の歴史・文化の継承と亀岡の魅力としての情報発信を



菱田 光紀 議員

菱田 亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想における山鉾を中心とした鉾町の在り方は。

市長 構想では、山鉾に代表される歴史や文化が数多く残る

市長 構想では、山鉾に代表される歴史や文化が数多く残る

市長 構想では、山鉾に代表される歴史や文化が数多く残る

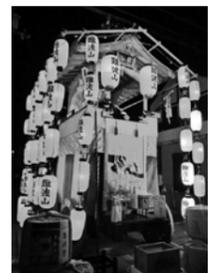
市長 構想では、山鉾に代表される歴史や文化が数多く残る

市長 構想では、山鉾に代表される歴史や文化が数多く残る

市長 構想では、山鉾に代表される歴史や文化が数多く残る

菱田 文化資料館の整備と合わせて山鉾会館を整備する考えは。また、新文化資料館の目玉展示に山鉾を展示してはどうか。

市長 亀岡祭の山鉾は市民の宝であり、



文化的資産の一つ・難波山

街路樹の根本が凸凹どうするの！



赤坂 マリア 議員

きるよう利用者の視点、立場で歩道の改善に努めていきたい。

赤坂 9月議会でタクシー事業者を公共交通の一部に取り入れてはと質問したが、その後の進捗状況は。

市長 自治会と協議を進めている。タクシー事業者との連携には運行経費や利用者負担など整理すべきこともあるが、前向きに検討している。

ごみの資源化、減量に向けた中間処理事業の課題は



大塚 建彦 議員

大塚 埋め立てごみの資源化、ごみの減量化を図るため、8月から実施している

大塚 埋め立てごみの資源化、ごみの減

大塚 埋め立てごみの資源化、ごみの減

大塚 埋め立てごみの資源化、ごみの減

大塚 埋め立てごみの資源化、ごみの減

大塚 埋め立てごみの資源化、ごみの減

大塚 埋め立てごみの資源化、ごみの減

コロナ対策として、レジ袋の禁止条例導入時期の猶予期間を



木曾 利廣 議員

木曾 新型コロナウイルス感染症の影響による、売上げの激減に伴う営業損失

特別天然記念物コウノトリ保護の環境整備について問う



浅田 晴彦 議員

浅田 コウノトリが平の沢池、上池に2年連続で飛来してきた。この時期は池の水を抜く期間で、

赤坂 9月議会でタクシー事業者を公共交通の一部に取り入れてはと質問したが、その後の進捗状況は。

市長 自治会と協議を進めている。タクシー事業者との連携には運行経費や利用者負担など整理すべきこともあるが、前向きに検討している。

掲載内容は、質問議員がそれぞれ執筆したものです。

掲載内容は、質問議員がそれぞれ執筆したものです。

ヤングケアラーの実態を調査把握し、早急に支援に取り組みたい



小松 康之 議員

握りたい。

小松 当事者への今後の支援策は。

こども未来部長 この概念が地域社会で認識されることが必要である。学校や身近な機関が気付ける体制づくりと各機関との緊密な連携で相談支援を行っていく。

小松 ヤングケアラーの実態調査は。

こども未来部長 実施していない。国の調査を見て実態を把握

全国に遅れを取らぬよう、学校教育情報化推進の計画を早急に立てるべき

小松 法に基づいた学校教育の情報化推進に関する施策についての計画は策定されているか。

教育部長 まだ策定していない。策定の着手もできていない。

小松 全国一斉にGIGAスクール構想が進むが、遅れを取

っているのではないか。

教育部長 ハード面、ソフト面、活用方法をしっかりと考えていきたい。

小松 テレワーク移住希望者のためにも本市の情報化教育は遅れを取らず、早急に進めてほしい。

掲載内容は、質問した議員がそれぞれ執筆したものです。

監査委員の活動報告



監査委員
福井 英昭 議員

昨年4月1日に議会選出の監査委員を拝命し、早くも任期の最終盤となりました。

この間、監査委員として執行部が行っている業務の詳細や補助金の使途など、さまざまに勉強させていただきました。ながら、監査委員としての職務から見える不適切なところや、不明確な部分を指摘し、あるいは適正化

できるように規則を改めてはどうか、というような意見を付してきました。代表監査委員にお世話になり、お教えいただくことばかりでしたが、市政のあれこれを見ることができた貴重な機会であったと思います。

先例・申合せにより、一般質問の機会がないことや、決算特別委員会に所属できないことは残念でしたが、残された任期についても、議選の監査委員としての在り方を踏まえ、しっかりと職務を果たしていきたいと思えます。

インターネット中継を視聴して

市民の声



日高省子さん
畑野町在住

幸齢（高齢）世代のアナログ派の私は、インターネット中継を視聴するのも初めてで、最初は戸惑いました。幅広い、多くの質問項目の中から一番関心の高い①子育て支援②行政のデジタル化③教育の3点に絞って視聴しました。

市長と議員の生き生きとしたやりとりは、市政運営への真摯な姿勢と情熱が感じられ、とても良い印象を受けました。

市長の答弁に「ふるさと納税」の資源を子育て支援や教育に使うという発言に思わず拍手を送りました。「住みやすいふるさと」の構築に尽力する姿勢が、年々増加している「ふるさと納税」に評価が表れていると感じます。

新型コロナウイルス感染症が、1日も早く終息することを願っています。そしてまた、本会議を傍聴に行けることも願っています。

編集後記

かめおか市議会だよりをご愛読いただき、誠にありがとうございます。昨年、各自治会をはじめ、市公共施設にご協力いただき設置させていただきました「わがまちアンケート」にて、市議会だよりについてもご意見を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、私たち第17期広報広聴会議も2月特別議会で改選となるため、今回が最後の編集となりました。この2年間、いかにして議会だよりを手にとって読んでいただけるのか、議会で議論された内容や活動が伝えられるのか、試行錯誤を繰り返す中、表紙や各ページに多くのご意見をいただきました。今後、読みやすく親しみやすい議会広報紙として、工夫してまいりますのでよろしくお願いたします。

広報広聴会議委員長 小川 克己

広報広聴会議

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 小川 克己 |
| 副委員長 | 三上 泉 |
| 委員 | 赤坂 マリア |
| | 富谷 加都子 |
| | 浅田 晴彦 |
| | 大塚 建彦 |
| | 木村 勲 |
| | 三宅 一宏 |
| | 松山 雅行 |